

The New York Times | 纽约时报中文网

天津瑞海公司是制度により作られた時限爆弾

纽约时报 cn.nytimes.com 2015-08-31

中国天津 —— このパートナーの一人は現地警察局長の息子、今一人は国営化学工業企業の幹部だった。彼らは、ある宴会で知り合った後、天津に会社を設立、中国で製造される最も危険な化学品の輸出業務に従事していたが、会社のスローガンは『優れたサービスで高い収益を』だった。

設立後まだ二年にも満たないが、瑞海国際物流は、名声を馳せ、海外のユーザへの危険物品輸送を希望する企業が次から次へと現れた。このニッチマーケットは、長きにわたりいい加減な国有企業により主導されてきた。

瑞海国際が提供するサービスは低廉で、煩わしい手続きも不要、しかもあつという間に政府部門の批准が卸されていた。業務は大変順調だった。濱海新区のサクセスストーリーとなり、濱海新区は、管轄する共産党が中国で最も繁忙な港のひとつ、天津港郊外に設立した鬱勃たる発展を遂げた経済開発区だった。

これまでに、瑞海国際は、多くの中国人の目には別のシンボルと映るようになってしまった。腐敗まみれの政治システムの中で工業化を急いだ巨額な代償を払うことになった。二週間以上前、同社倉庫で大爆発が発生、濱海新区の大半が平地となり、死亡者 **145** 人 (宮本注: 英文版では **158** 人となっています)、負傷者 **700** 人以上、更に有毒物質の流出を招き、この周辺の数百万人はパニックに陥った。

瑞海国際の十数社の以前のユーザや、同社と取引のあった人へのインタビューにより、中国政府サイドが管理している新聞メディアの異常な各種批判的報道に加えて、人々が知ったことは、共産党経済のモデル地区の管理監督力の隙き間を擦り抜けた、政治関係を使ってその業務が審査を受けずに済ましたりしていた会社だということだ。

瑞海国際は許可証を取得する前に既に危険化学品の経営を開始していたが、同社は少なくとも **5** つの地方部門から許可証や批准を受けており、これらの部門による企業業務審査には全て問題があったのだ。地方当局は、倉庫許可証に必要な安全審査を瑞海が選び、関連費用を瑞海が支払ったプライベート機関に下請けさせていた。

大爆発が発生した当夜、瑞海倉庫の中には、**3000** トン以上の危険化学品が貯蔵されており、その中にはスプーン一杯で多くの人命を奪うシアン化ナトリウムが **700** トン以上、更に硝酸塩肥料 **1300** トンが含まれているが、これは、**1995** 年アメリカのオクラホマシティで起きた爆発の際に使われた爆薬量の **500** 倍以上に当たる。

瑞海の専有面積は **4.6** 万平米あるが、あるユーザは、業界の貯蔵方法では、これらの化学品は小さな単位に小分けし、距離を置いたところで単独保存されるべきだが、同社では、日頃から爆発性や可燃性の高い化学品があちこちに積み重ねられていた、という。

『彼らの前に立ちほだかりたいものなんてないよ』以後の報復を避ける為に匿名での回答を要求した天津の化学品輸出者は、「なぜ監督管理部門が何等の行動もとらないのか?」と問われた際、この様に答えた。

天津の事故、これは安全面で世界最悪の国で生活をしているに国にとってショックだった。政府自身のデータによれば、昨年この種事故で死亡した人数は **6.8** 万人、平均すると毎日 **200** 名が死亡しており、彼らの大多数は中国の反映している都市から離れた力を持たぬ人たちのだ。

だが、**8** 月 **12** 日瑞海の大爆発はこれと異なる。なぜならば、爆発が発生したのが中国で最も繁栄している都市のひとつにおける中産階級コミュニティの隣接している場所であり、北京から高速鉄道で僅か **30** 分のところには **1500** 万人が住んでいる大都市だからだ。また、爆発の様子がネット上リアルタイムで人々の目に晒され、深刻な映像が阻止される前にソーシャルメディアで広がってしまった。経済成長が **25** 年来最低となり、夏に入ると株式市場が暴落して、共産党の管理経済に対する批判の声が高まっている。今日、

大爆発によりさらに広範な疑問を誘発した：監督管理を受けない共産党官員たちが、国民の健康と安全を脅かさずに発展を追求できるものなのか。

『爆発の発生から、政府の拙劣な対応まで、今回の犠牲者に関連する全てに人々は耐え難い思いをしている。これが、人々がなぜこんなに怒っているのかの原因だ』北京人民大学の政治学者張鳴は言う。

『これは本来避け得た人為的災害であり、危険化学品経営の件と区管理から商人と腐敗官僚の結託まで一連のシステム上の問題が暴露されてしまった。』

もし証拠が浮上した場合、地方官員による濱海新区の瑞海とその他の施設のリスク無視やその隠ぺいが明らかになり、政府に対する信頼感は更に弱まることになる。

2013年の初めに、中国の学者が、濱海新区には『許されざるべき環境リスク』が多数あったと警告し、危険物倉庫と住民区域がこのように接近していれば事故が発生するリスクを指摘している。同時に、特に瑞海の倉庫の所在地を特に指摘していた。この種の警告は、少なくとも **2008**年の類似警告まで遡ることができるが、全て無視されてきた。

『政府による軽視と管理の不十分さから見れば、濱海新区で発生した事故は、中国各地で発生している氷山の一角に過ぎない』グリーンピース中国のプロジェクトリーダー武毅秀は言う。『地方政府は経済成長にプライオリティを置いており、住民に対してはこの種の施設がもたらす危険性を隠ぺいしていたのだ』

中国の高層指導部は、透明な被害調査をすることを承認し、地方官員及び瑞海の社員 **20**名以上が既に拘束され取調べを受けている。重要な問題については、何が爆発をもたらせたのかを含めて今まで沈黙を続けている。あるメディアは、港区消防隊員には化学火災への準備もなく、放水により更に大きな爆発或は毒の開放を引き起こしたのではと報道したが、これらに対して政府からはまだ回答がない。

25歳の消防隊員が、『我々はあれが危険品倉庫だとはまったく知らなかった！』と全力でいった。彼はその当時、爆発で倒壊した消防部門のビルの中にいたが、その廃墟に埋められていた。彼自身はまだ病院のベッドにいるが、電話で、インタビューに応じてくれた。彼は、消防部門は今年消防応急対応プランを制定しており、港区の最も危険な個所の確定をしていたと語った。彼は、「瑞海会社は、重点単位とはされていなかった」と語る。

リーダーを追い

何十年も天津は北京の影からの離脱をしよう、より強大で特権に溢れた北京の影響を克服し、中国経済改革で成長した他の港湾都市を追い上げたいと考えていた。濱海新区はこれら長大な目標の核心であり、市の中心から **30**マイルの渤海湾の泥地の海岸沿いに位置し、摩天楼とインダストリアルパークで埋め尽くされている。

濱海新区には、既に、上海浦東のようなスカイラインはなく、華南地区にある深圳のような輸出力はない。彼らが誇るのは、フォーチュン社のグローバル **500**強にはいる企業の半数がここに投資をしていることだ。エアバス社はここで **A320**型機を製造している。国家主席の習近平は、北京と周辺地区を「スーパーシティエリア」とする計画を持っており、更に濱海新区のステータスを上げようとしている。

70年代末に、海外からの投資促進及び市場志向型政策を目指すために、中国の指導者は第一次経済特区を試験的に開始した。これらの地区では税収の減免が認められており、過度な監督管理の制約がなかった。その経済成長は極めて迅速で、中国其他地区もこれを真似しだした。濱海はこの特殊な地位を **1994**年に獲得していた。

だが、何十年かの急速な成長を経て、共産党はずっと官僚主義打破と環境や労働者及び国民の健康を保護する規定のバランスをとるのに苦しんできた。彼らの作業には公開審査がなされておらず、党内幹部はたまに、後者を無視したことで懲罰を受けたぐらいで、通常、これは事故が起こった後のことだ。が、彼らは、経済成長の極限を求め、昇級を含めた褒美を獲得するためにしているので、そこには汚職を生む機会もあったのだ。

つまり、爆発の前に、濱海新区中心にある天津港は競争相手と比べて管理監督が厳しくないという評判があった。爆発の発生後、ある政府側メディアは、『独立王国』だと言った。瑞海の創始者董社軒と于学偉に

してみれば、会社を **2012年11月** に設立した当時、それは完璧な場所だった。

現在 **41歳** の于学偉は、もともと中化集団の現地分公司の副総経理だった。**34歳** の董社軒は、もともとはタイヤや化粧品、種類の販売をしていたが、その父親は天津港公安局局長を務めていた。これが、彼らの必要としていた消防安全や土地、環境の許可を取得するのに助けとなった。

『私のコネは主に公安と消防方面』 合作パートナーと一緒に拘引された後、董社軒は政府系メディアの新華社ネットに告げていた。『会社成立の際、私は天津港公安消防支隊の責任者を訪ねて、危険化学品の貯蔵をしたいと言った。その当時私は全てのデータを持っていったので、あっという間に消防鑑定が下りた』と報じられている。

新華社の英文版報道では、董社軒は『賄賂或は汚職については何も詳細を騙らなかつた』とされている、しかし、マンションや駅舎から半マイルの地点での瑞海会社の倉庫建設は、危険化学品保存には住宅地区および交通の中心から距離を置かねばならないという中国の監督管理基準に違反している。天津の監督管理部門が、**2013年** に環境影響評価の実施を要求した際には、これに関して言及した事実はない。逆に、天津市環境保護科学研究院が作成した環境評価報告書では、訪問を受けた **128名** 全員が、コミュニティの周囲への施設設置に歓迎の態度を示したとある。

以前に瑞海のユーザだった人は、**2014年2月** に改行した時には彼のそのビジネスを最頂にしていた。が、**2014年5月4日** になって初めて天津市交通運輸港灣管理局が仮の許可証をだして瑞海が危険化学品の貯蔵と輸送を許可したと語った。この許可証の有効期限は **4月16日** まで遡って有効期間は **6か月** というものだった。許可書の下の方には、『本件は不公開とする』と記されていた。木曜日、検察部門は、交通運輸・港灣管理局の局長を含め、この許可証を出した官員を取り調べていると発表した。

許可証の期限切れ後、瑞海は許可証のない状況下で危険化学品の処理を継続していた。于学偉は新華社に対し『正式な許可がすぐに下りると思っていたことと、他の会社もみな期限の延長をしていなかったことで、それが問題とは考えていなかった』と答えている。瑞海は、**2014年** に同社がまだ安全認証を受けていないために仮の許可証を獲得していただけだった。安全認証の手順は、港灣管理局が局外の私営企業に外注されていた。

中国の環境保護活動では著名な馬軍は「これらの安全コンサルタント会社は往々にして彼らの初見を捻じ曲げてユーザ企業の要求を満たしている。もし妥協しなければ彼らがこの業界ではやってゆけないのだ」と言う。

董社軒は新華社のインタビュー時に、瑞海が接触していた最初の企業は、住宅地区との距離が近すぎるという理由からそれを拒絶した。が、瑞海は別の企業探しを続け、ようやく見つけ出した企業の企業情報でこれが公安部に属している企業と知った。このような関係は中国の記者をして『赤い帽子の仲介』と掲げせしめ、これこそが官員により創立された金儲けのための企業なのだ。**2015年2月** に発表されたある報告の中では、瑞海が倉庫の位置と住宅区や列車の駅、高速道路までの距離を数百メートル誇張し、国家基準に符合していると断言していた。

文中には、更に、同社が既に『完全な安全生産管理制度を持っている』と書かれていた。**4か月** 後に、瑞海が有効期限 **3年** とされた新たな証明書を取得し、危険化学処理の許可を得ていた。

<http://cn.nytimes.com/china/20150831/c31tianjin/>

..... 以下は中国語原文

天津瑞海公司，一颗制度造就的定时炸弹

紐約時報 cn.nytimes.com 2015-08-31

中国天津——这对合伙人之一是当地警察局长的儿子，另一位曾担任一家国营化工企业的高管。他们在一次宴会上见面后，在天津开了一家公司，从事中国制造的最危险的化学品的出口业务，公司的口号是“优服务、

高效益”。

公司成立了不到两年，瑞海国际物流就已颇有名声，希望向海外客户运送危险物品的企业纷纷找上门来。这个小众市场曾一直被懒散的国有企业主导着。

瑞海国际提供的服务价格低廉，不需办繁复的手续，还能很快得到政府部门的批准。业务很火。公司似乎是滨海新区的又一个成功故事，滨海新区是执政的共产党在中国最繁忙的港口城市之一的郊外设立的一个蓬勃发展的经济开发区。

而如今，瑞海国际在许多中国人眼里已成为某些其它东西的象征，成为在一个充满腐败的封闭政治体系中快速工业化的巨额代价。两周多前，公司库房发生了大爆炸，将滨海新区的大片夷为平地，导致 145 人死亡、700 多人受伤，还导致有毒物质流失，给住在这里的数百万人留下了可怕的后患。

通过对瑞海国际的十几个前客户、以及一些与公司打过交道的人的采访，加上来自中国官方控制的新闻媒体的不同寻常的批评性报道，一个画面呈现在人们眼前，这是一家钻了共产党经济示范区里监管不力的空子、利用政治关系让其业务不受审查的公司。

瑞海国际在拿到了许可证之前就开始经营危险化学品，公司从至少五个地方部门获得了许可证和批准，这些部门对公司业务的审查都有问题。地方当局把发放库房许可证所需的安全审查承包给了一家瑞海自己挑选的私人机构，并由瑞海支付了有关费用。

大爆炸发生的那个夜里，瑞海库房中存放着多达 3000 吨的危险化学品，其中包括 700 多吨、致命剂量小于一汤匙的氰化钠，以及 1300 吨硝酸盐化肥，是 1995 年美国俄克拉荷马城爆炸案中使用的炸药量的 500 倍还多。瑞海的占地面积超过 4.6 万平方米，但客户说，公司经常把大量易燃易爆的化学品随意地堆放在一起，而不是按照行业推荐的方法，把这类化学品分为更小的单元、远距离单独存放。

“没有人愿意挡他们的道，”当天津的一名化学品出口商被问及为什么监管部门没有采取任何行动时，他这样回答。为了保护自已今后做生意时不被报复，他要求不具名。

天津的灾难震惊了这个已经习惯于与世界上最糟糕的工业安全记录一起生活的国家。按照政府自己的统计，去年在这类事故中死亡的人数超过 6.8 万，平均每天死掉近 200 人，他们中的大多数是远离中国繁荣城市的无权无势的穷人。

但是，8 月 12 日瑞海的大爆炸不同，因为爆炸发生在与中国最繁华城市之一的中产阶级社区如此接近的地方，从北京乘坐耀眼的高速列车只需半个小时就能到达这座有 1500 万人口的现代化大都市。而且爆炸几乎是在网上实时地展现在人们眼前，令人印象深刻的录像在审查者来得及阻止之前，已在社交媒体上被广泛分享。随着经济增长放缓到 25 年来的最低速度，以及夏初开始的股市暴跌，对共产党管理经济的批评声已经一直在上涨。如今，大爆炸触发了更大范围的质疑：权威几乎不受监督的共产党官员们，是否能够在不威胁公众健康和安全的条件下追求发展。

“从爆炸的发生，到政府的拙劣响应，与这场灾难有关的所有事情都令人难以容忍，这就是为什么人们如此愤怒的原因，”北京人民大学的政治学者张鸣说。“这是一个本来可以避免的人为灾难，它暴露出一系列的系统性问题，从缺乏对危险化学品经营的监管，到商人和腐败官员的勾结。”

如果有证据浮出，表明地方官员忽视和掩盖了滨海新区中的瑞海和其他设施所带来的危险的话，对政府的信任感可能会进一步削弱。

早在最近的 2013 年，中国学者就曾警告说，滨海新区有“许多不可接受的环境风险”，指出让危险物库房与居民区如此接近增加了发生事故的风险，并特别提到瑞海库房的所在区域。这一警告，以及其他可追溯到至少 2008 年的类似警告都被忽视了。

“就政府漠视和管理不善而言，滨海新区发生的事情，只是中国各地发生的事情的冰山一角，”绿色和平 (Greenpeace) 中国项目经理武毅秀说。“地方政府把经济增长放在第一位，对居民隐瞒了这些设施所带来的危险。”

中国高层领导人承诺进行透明的灾情调查，二十来名地方官员和瑞海员工已被控制或接受调查。但在关键问题上，政府迄今保持沉默，包括究竟是什么导致了爆炸。有报道称，港区消防员没有准备好应对化学火灾，并可能因为往大火喷水引发了更大的爆炸或释放了毒素。对于这些说法，政府也没有做出回应。

25岁的消防员全力说，“我们根本不知道那是一个危险品仓库。”他当时身在因爆炸而倒塌的消防部门建筑物中，被埋在了废墟下。他躺在医院的病床上，通过电话接受了采访。他表示，消防部门今年拟定了一份消防应急预案，确定了港区最危险的地点。

他说瑞海并未列为重点单位。

追赶领先者

几十年来，天津一直力求脱离北京的阴影，克服这个比其强大得多、享有的特权也多得多邻居的影响，并想追上开创了中国经济转型的其他几个港口城市。滨海新区是这些远大目标的核心。它位于距市中心约30英里的沿渤海泥泞海岸，是一片满是摩天大楼和工业园的广阔区域。

滨海新区既没有上海浦东的天际线，也没有位于华南地区的深圳的出口实力。它引以为傲的是，超过半数的财富500强(Fortune Global 500)企业在这里投资。空中客车(Airbus)在此地制造A320飞机。国家主席习近平计划整合北京与周围地区，使之成为一个“超级城市圈”，从而进一步提升了滨海新区的地位。

在70年代末，为了促进外国投资及以市场为导向的政策，中国领导人开始在第一批经济特区做试验。这些地区承诺税收减免，不受过度监管的制约。它们的经济增长极为迅速，中国其他地区因此也试图仿效。滨海在1994年赢得了这一特殊地位。

然而，经过了几十年的快速增长，共产党一直苦于在打击官僚作风和执行保护环境、劳动者及公众健康的规定之间达成平衡。由于他们的工作没有什么公众监督，党内干部只会偶尔因为忽略了后者而受到惩罚，而且通常是在出现了事故之后。但是，他们会因为推动经济增长的极限而获得奖励，包括升官——还有贪污的机会。

即使在爆炸之前，在滨海新区中心的天津港，与竞争对手相比也有着监管不严的名声。爆炸发生后，一家官方媒体报道将其比作“独立王国”。对瑞海创始人董社轩和于学伟来说，在2012年11月设立公司的时候，它是一个完美的地方。

于学伟现年41岁，曾是中化集团的本地分公司的副总经理。董社轩现年34岁，曾从事轮胎、化妆品和酒类销售生意，但其父亲担任过天津港公安局局长。这显然有助于他们获得必要的消防安全、土地和环境许可。

“我的关系主要在公安、消防方面，”在与合作伙伴一起被拘后，董社轩告诉官方媒体新华网。“公司成立时，我去找的天津港公安消防支队负责人，说想做危化品仓储。当时我把材料都拿了过去，很快消防鉴定就办下来了。”

新华的英文报道指出，董社轩“没有详细说明当中是否涉及贿赂或官员渎职。”

但是，瑞海在距离一片公寓楼和一个火车站约半英里的地方建设仓库，违反了中國要求危险化学品存放远离住宅区和交通枢纽的监管守则。

在天津监管部门2013年要求进行的环境影响评价里，并没有提及这个事实。相反，天津市环境保护科学研究院出具的环评报告称，128名受访居民全部对社区周围建设这一设施持欢迎态度。

瑞海的一些前客户指出，早在2014年2月就开始光顾它的生意。但直到2014年5月4日，天津市交通运输和港口管理局才发放了临时牌照，允许瑞海储存和运送危险化学品。

该牌照的生效日期回溯到了4月16日，有效期为六个月。牌照下方标明，“此件不公开。”周四，检察部门宣布，当局在调查负责发证的官员，包括交通运输和港口管理局的局长。

牌照过期后，瑞海在无牌的情况下继续处理危险化学品。于学伟告诉新华：“一方面觉得正式资质很快就会批下来，另一方面觉得很多其他公司都没办延期，就没当回事儿。”

瑞海可能仅在2014年获批一个临时牌照，因为它尚未获得安全认证。安全认证的程序由港口管理局外包给私营公司进行。

中国著名环保活动人士马军表示，这些安全咨询公司往往会扭曲他们的所见来满足企业客户的要求。“如果他们不妥协，就没有办法在这一行立足，”他说。

董社轩在接受新华采访时称，瑞海接触的第一家公司拒绝与其合作，因为仓库离住宅区太近了。但瑞海继续寻找，后来找到的一家公司企业信息显示为隶属于公安部。这样的关系引致一些中国记者把这家公司形容为“红顶中介”，也就是由官员创立的透过经商来赚钱的公司。

在2015年2月发布的一份报告中，瑞海把仓库的位置与住宅区、火车站和高速公路的距离夸大了数百米，断言它符合国家标准。

文中还称，公司已“建立了较为完善的安全生产管理制度。”四个月后，瑞海收到了一个有效期为三年的新牌照，得到处理危险化学品的许可。

20150831B 天津瑞海公司是制度により作られた時限爆弾(NY タイムズ)